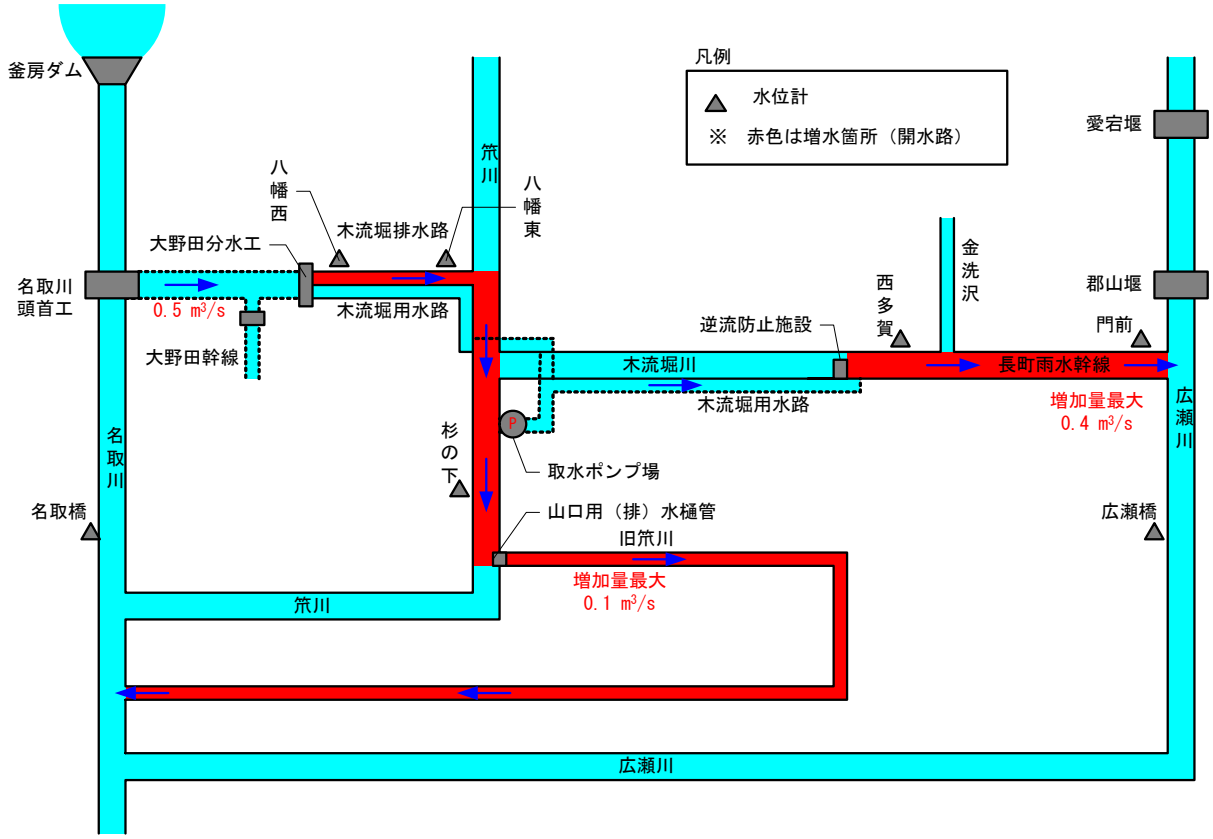
広瀬川試験導水計画図



※事業概要

既存の取水施設（名取頭首工）、用水路等（木流堀、木流堀川、長町雨水幹線）を活用して、名取川からの水を広瀬川に流すことにより、瀬切れなどの最悪の状態となるのを回避します。

水源は、現状で釜房ダムの未使用水となっている工業用水（毎秒０．５m3）を活用します。